

※以下は要約文となりますので、詳細は配信動画等をご覧ください。

【令和7年10月 知事定例記者会見】 10月17日

● 吉野ヶ里歴史公園における官民連携プロジェクト

遺跡群から約500メートル離れた所に、県営の広大な公園がある。このエリアを佐賀県初のパークPFI（公募設置管理制度）を活用したプロジェクトで整備する。

民間事業者が造り、維持管理の責任をもち、所有権は県に移し使用料を支払う。民間側には県の投資があり、歴史公園内に許可がおりる。県は、民間的な施設がもてる。お互いウィンウィンになる。

管理運営者は、令和5年11月に公募でスノーピークを代表とする共同体に決定。ランドステーション的な施設と160サイトのキャンプフィールドがあるのが特徴。施設には、スタバやみつせ鶏本舗などが入る。日帰利用もでき、キャンプフィールドに泊まることもできる。また、物見櫓をモチーフとしたコテージ、竪穴住居をモチーフとしたキャンピングもつくる。吉野ヶ里遺跡に隣接した施設としてPRしたい。

名前は、「スノーピークグラウンズ吉野ヶ里」。「土地に深く根差し、その土地を愛する人々と共に、その場所ならではの自然や歴史、文化を、野遊びを通じて多くの人に伝えていく」施設。

周辺には、アドベンチャーバレーSAGA、山茶花の湯があり、山の向こう側には五ヶ山にある有名店舗、スノーピークの油山の施設もある。国道385号がグランピングストリートとなり、福岡の皆さんのご来場も期待する。来年3月オープン。

● 文化新流行時代の到来の地 はじまりの名護屋城。

150を超える武将が集まり、20万人超が上場地域に住み、文化交流が行われた。

当時、ロンドンの人口は19万人、パリが24.5万人。武将と共に全国の文化が集まり、5年～7年、文化交流をしていた。全国の流行が集まった地域だと着目。この唯一無二の価値を伝えようと「はじまりの名護屋城。」事業が始まった。

令和3年から大茶会を続け、史実に基づいた黄金の茶室や草庵茶室の復元。コーエーと連携した「信長の野望」コラボ周遊サインをつくった。昨年の大茶会では、歴史界のビッグスリー、平山氏、磯田氏、千田氏が揃った。平山さんは、「近世城郭遺構の至宝」「奇跡の城」と評価。磯田さんは、「安土桃山時代ではなく、安土肥前名護屋時代と呼んでもいい」と発言。

この地域は、徳川家康時代に棄却され、歴史の底に眠っている。本来持っている価値を浮かび上がらせるのが私の使命だと思っている。

第5回名護屋城大茶会は、11月23日、24日。「出張！お城EXPO」とタイアップし、

セットで開催。名護屋城周辺で行われた文化事業を再現し、俳優の高橋英樹さん、平山さん、作家の河合さん達のクロストークやプレミアムフォーラムも行き、当時の実相に迫りたい。

また、希少価値の高いプレミアムツアーが好評で、催行が決定。2泊3日の唐津・有田を巡るツアーは1人70万円。

名実ともに、世界の肥前名護屋城。そして、世界の唐津へ。

● 海洋プラスチック問題への取り組み状況

世界海洋プラスチックプランニングセンター（愛称 PLA PLA）は、2026年6月オープン予定。シンポジウム、クリーンアップ作戦、ゼロカーボンマッチ、万博での情報発信など仲間を巻き込み、雰囲気を高めている。

海を守る取組は、佐賀発で世界に広げたい。また、日韓海峡知事会議は、日韓各4人の知事が集まるので、問題提起をしたい。

「佐賀の岬から世界の海を取り戻そう。」ご支援、ご協力をお願いしたい。

● 山の博覧会（仮称）コンセプト発表

令和10年春、緑化フェアと合わせて、山の博覧会を開催。改めて人々が、源流への感謝を思い起こすような年にしたい。

コンセプトは「SAGA JAM みどりとあおのいぶき」。みどりの三角は山、あおの丸は海をイメージ。JAMは、ぎゅっと詰め込む、混ぜ合わせる、即興するという意味。活動理念は、感謝、自発の地域づくり、佐賀から世界を変える。

「自発で自由に楽しむ、人と人がつながって価値を生む佐賀らしいムーブメントへ」緑化フェアは、佐賀城を中心に行う。SAGA JAM（山博）は、自発的な取組の集大成にしたい。ハードをつくるのではなく、様々なムーブメントを博覧会につなげたい。

スポーツピックアップ

佐賀国スポから順位発表を16位までに変更。佐賀大会以前のように8位までだと、開催県と都市部に偏る傾向があった。滋賀国スポもこれを踏襲してくれた。

今年は、佐賀県が13位。開催翌年に、この位置に入るのは珍しいこと。スポーツが佐賀に根差して、スポーツを志す人が集まれば、もっと上位を狙える。今後、全障スポもある。応援をお願いしたい。

SAGA2024は、新たな取組が評価され、グッドデザイン賞 BEST100を受賞した。

東京2025デフリンピックは、11月に開催。佐賀県ゆかりの選手が出場する。また、佐賀県独自のパラスポ全国大会も続けていきたい。

秋・冬のイベントを一気に紹介

県が関与するイベントが様々ある。忍たまとコラボした豆腐スタンプラリー、アリタ・マシュマロクリスマス、イマリ・キャンドルクリスマス、九年庵、SAGA さいこうフェス、キッザニアとコラボの SAGA×Out of KidZania、本恋フェスなど。

与那国島観光・芸能フェア in 佐賀

佐賀県は、与那国の国民保護の避難先。11月1日、2日に佐賀駅前の交流広場で与那国島の伝統芸能が披露される。与那国島は Dr.コトーの島で有名。ぜひご来場いただきたい。

ゆめさが大学“大”学校祭

10月29日、ゆめさが大学“大”学校祭を SAGA アリーナで行う。誰でも参加可能。

健やかさがいちばん“けんしん”を受けよう

がん検診率は上がってきたが、女性の子宮頸がん、乳がんが 20～40 歳代に急増。また、糖尿病の疑いが強い人が全国最多で「歩こう。佐賀県。」という政策もやっている。生活習慣病は、早期発見、早期治療が重要。忘れずに受診してほしい。

ルート・グランブルーの旅へ出かけてみませんか

ルート・グランブルーは、幸多里の浜、セツ釜から名護屋城、波戸岬へのルート。世界的なダイバー、ジャック・マイヨールが愛した海の色、グランブルーにちなんでつけた名称。来年には PLA PLA も完成する。

プロモーションビデオを紹介する。

<動画放映>

ツール・ド・九州のコースにもなる予定。世界に向けて美しい海を発信していきたい。